



生きものの“つぶやき”:

「なにを見てんだよお！」

エッセイ:

「うわぁ！」

夏休みに父と溪流釣りに行くと、時々姿を現す彼ら。気づかずに近寄れば大ジャンプをみせ、私を驚かせる犯人の正体はアズマヒキガエルである。しかしこの個体はどれだけ近寄っても動かずジッとこちらを見つめてくるだけ。負けずとこちらも見つめ返すと「なにを見てんだよお！見せもんじゃねえぞ！」と鋭い眼光を突き付けてくる。

アズマヒキガエルの成体は動きが遅く、逃げても捕まってしまうことが分かっているためこちらをよく観察し、ギリギリになるまで擬態してやり過ごしたいと思っているのだろう。そんな彼らに危機回避行動をとらせるほど驚かし、危機を感じさせてしまっているという事実を知り、少し申し訳ない気持ちになった。(299字)

生きものの紹介:

アズマヒキガエル (学名 : *Bufo japonicus formosus*)

分類

ドメイン:真核生物 Eukaryota
界:動物界 Animalia
門:脊索動物門 Chordata
亜門:脊椎動物亜門 Vertebrata
綱:両生綱 Amphibia
目:無尾目 Anura
科:ヒキガエル科 Bufonidae
属:ヒキガエル属 Bufo
種:ニホンヒキガエル B. formosus

日本固有亜種

生息域:

東北地方から近畿地方、島根県東部までの山陰地方北部に自然分布低地から 2000m 以上の高地まで様々な環境に生息する。

特徴:

体格は頑丈で、日本産のカエルとしてはかなり大型になる。背面の体色は赤褐色から濃褐色だが、繁殖期のオスは黄土色へ変化する。西日本に分布するニホンヒキガエルと比べて鼓膜が大きいことが特徴。

個体数の多い地域では、繁殖期に多数のオスがメスを奪いあう「蛙合戦」が見られる。オタマジャクシは全身黒色で、小型。変態直後、上陸個体の体長は 1 cm にも満たない。1~3 年で成熟する。アリや甲虫、クモ、ミミズなどを食べる。

撮影場所・日時:

長野県塩尻市の伊奈川 2024 年 7 月 16 日

応募者の自己紹介:

1. 氏名: 藤原 凜太郎
2. 高校・学年: 愛知県愛西市 清林館高等学校・2 年
3. 所属: テニス部

審査員からのコメント:

ヒキガエルの表情（特に目）が、本当にそう言っているように思いました。どっしり構えた、威厳あるヒキガエルでも、繊細な生き物であることを理解した作者の感性が素敵です。

ヒキガエルのふてぶてしさがよく伝わってくる写真とエッセイです。
ト迫力です。